

心 清ければ 土も清し

初めての試みとなりました「陶芸教室」。限られた時間の中で、どんな風に行われるのか、期待と不安が錯綜。そんな空気を吹き消す、古橋先生の温和な口上から始まり、気づいた時には目の前に置かれた轆轤(ろくろ)に向かって真剣な眼差しで、思い思いの器を造りだしている。これほどまでに、人を魅了させるものであるとは。手間や面倒を考えただけでも、とつき難いと思っていた陶芸だけに、これほど親しみやすく、楽しむことができるとは。世界にひとつとない、自分の器が完成。一か月半程経て、再会することができるそう。さあ、どんな気持ちで再会するのか、乞うご期待！！古橋先生、陶芸の面白さを僅かの時間で、実感させていただきました。再会を楽しみにしていますよ。ありがとうございました。

